

「ほっこりカフェ氷室」報告

大阪府高槻市氷室町 2-37-15 高槻バプテスト教会 1F

連絡先 代表 中越優 ☎090-9614-6403

設立の経緯

2016 年秋、高槻バプテスト教会より認知症という地域課題に役割を果たしたい思いを相談された。9 年前より「認知症を理解し地域で支える会」の活動を支えてきた「高槻の高齢社会をよくする会」と「認知症家族の会ハナミズキ」の関係者と「バプテスト教会」から 7 名が世話人として毎月集まって準備を始めた。

2017 年度には、タイミングよく朝日新聞厚生文化事業団の助成金を得られ、10 月よりカフェを開始した。準備を通して企画した内容は以下の通り。

- ①教会の集会室、厨房、喫茶室を使用する
- ②初期認知症と思われる人とその家族それぞれ 3 名を核として始め、本人中心にプログラムを作っていく。
- ③月 1 回食事を皆で企画し、作り、共に食べる。役割とやりがいが見つけ、楽しく過ごせる場所にする。



2 年間の活動要約

- ① 世話人会を毎月開き、課題を共有して全体を企画する。
- ② 毎月第 4 金曜日 10 時よりミーティングで献立を考え、役割を決める。買い物係り、会場設定と食器の準備と花生け、調理、盛り付け、配膳など。終わりに次回の献立の希望を聴く。



ミーティングから始まり、ミーティングで終わる



七夕の会食、家よりも沢山食べる

- ③参加費 500 円 参加人員は 12 名～18 名 本人と家族 6 名～8 名 送迎 1～2 名
- ④皆楽しく過ごし、特に家族が相談したり、励まし励まされる事で、大切な居場所になってきている。屋外の古墳のある公園で食事したり、貸し切りバスでキャンプ場に行きバーベキューすることができ、家の中で煮詰まりがちなストレスを発散が出来て好評であった。これは助成金のお陰で実現できたと感謝である。
- ⑤当初から参加の 3 名の内 2 年で 2 名が亡くなられたことは残念であった。その後若年性認知症の人や初期の心配な人が参加し出した。

今後の課題

プログラムは有効性を確認して定着してきている。これまで世話人の人脈や地域包括支援センターを通して参加を促したが、諸事情のため問い合わせはあるが参加まで至らないケースが多い。次の段階は福祉委員会など地域情報に接する人達と「初期認知症の人」の課題を共有して、参加の幅を広げていきたい。
(2020.1.24 現在)